

農業・農村開発プロジェクト 獣医・畜産グループ  
菱沼貢 グループ長

## 乾燥地の持続的な家畜生産に有用な家畜衛生、 疾病対策および繁殖技術の改善と開発

### ■ 乾燥地、発展途上国での 持続的な畜産をめざして

農業・農村開発プロジェクト獣医・畜産グループは、タイ王国およびスーダン共和国をフィールドとして、乾燥地や開発途上国における持続的な家畜生産に有用な家畜衛生、疾病対策および繁殖技術の改善と開発を行うこととしています。まず、共同研究先の研究機関を訪問して意見交換を行い、連携体制を整え、次に、フィールド調査を実施して現状や課題を把握した上で、課題解決に向けた共同研究を実施します。

タイチームは、菱沼教授（繁殖技術）、笛吹講師（家畜衛生）、尾崎准教授（疾病対策）が、コンケン大学にパイプを持つ農村開発グループのグループ長・安延教授とともに8月にタイ東北部にあるコンケン大学およびコンケン県内の農村を訪問しました。コンケン大学には農学部と獣医学部が設置されており、いずれも家畜に関する教育・研究が行われています。特に、獣医学部は家畜衛生のハブとしての機能を担っています。最近新築された獣医学部の病院には充実した施設が整っています。今回の訪問を通じて、両学部との連携関係を築くことができ、当初の目的を達成しました。今後は、今回見ることができなかった大学の研究室や設備、さらに詳しい学内における家畜飼育の状況を把握する予定です。



コンケン大学 獣医学部棟



コンケン大学獣医学部  
小動物診療棟と臨床検査棟



コンケン大学獣医学部 大動物診療棟

### ■ タイ農村部の畜産事情



農村で飼育されている肉牛（ブラーマン種）

大学の見学に続き、コンケン市から車で1時間程度のところに位置するコンケン県内の農村を視察しました。コンケン県は、鳥取県の約3倍の面積と人口を保有する、肉牛飼育が盛んな地域です。熱帯であることから、日本とは異なり肉牛はブラーマン種（インド系の *Bos indicus*、大型で痩せている）が主流で、乳牛は耐暑性のホルスタイン交雑種（*Bos indicus* と *Bos taurus* の交雑種）が飼育されています。農村では牛および家禽は粗放的に飼育されており、健康状態は良好であることがうかがえました。農村には獣医がおらず、政府がトレーニングしたボランティアが対応しています。今回の視察では、集約的な家畜の飼育状況については視察していません。さらに視察を行い、課題の発掘を行うこととしています。

【参考文献・詳細情報】

西田武弘. タイでの国際協力. 畜産の研究 64 (1): 105-111.



農業・農村開発プロジェクト  
獣医・畜産グループ グループ長

菱沼貢 Mitsugu Hishinuma

【所属】農学部共同獣医学科  
臨床獣医学講座 教授

【専門】獣医繁殖学、生殖工学等の技術を用いて産業動物、伴侶動物、実験動物および野生動物の繁殖生理、繁殖機能の検査法、遺伝資源の保存をテーマに体外受精、精子・卵子・胚（受精卵）の低温保存、卵胞発育、顕微授精等に関する研究を実施。

【HP】[gt-jdvm.jp/archives/518](http://gt-jdvm.jp/archives/518) 【海外ネットワーク】タイ王国（コンケン大学）